

月刊

あなたにこの本を！

平成 19 年

10

月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



田んぼが学校になった

—つくろうあそぼうたべよう—



佐伯剛正 著

岩波書店 1785 円 (0011435281)

ジャンル：子どもの成長のために

本書の舞台は、群馬県の田んぼの自然学校。著者は、そこで講師を務める NPO 法人森の学校の代表だ。この学校では雑草は草笛に、刈り取った後の稲ワラは手すき紙になり、無駄なもののないことを学ぶ。また育てた「お米の命をいただく」ことから食べ物への感謝を実感できる。実際の授業を元に、田んぼを中心とした自然との触れ合い方が、イラストや写真を用いて丁寧に解説され、随所にえられる子どもたちの絵からも学びの楽しさが伝わってくる。〔379.3〕



日本でいちばん小さな出版社

佃 由美子 著

晶文社 1680 円 (0011414442)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

本書は、社員が自分一人だけの出版社を設立した著者の奮闘記である。著者は知識も経験もなく出版界に参入したが、独自のポリシーを持っている。その一つが新刊書に内容紹介の「オビ」をつけないこと。ある方が売れるという、業界の常識へのささやかな抵抗でもある。企画、編集から経理、営業活動まで何でもこなし、注文が入れば愛車のスクーターで納品に行く仕事ぶりは痛快だ。会社の規模は小さくとも出版人として生きていく心意気を感じる。〔023〕



都会にすむセミたち

—温暖化の影響？—



沼田英治、初宿成彦 著

海遊舎 1680 円 (0011454946)

ジャンル：自然・環境を考える

沼都市にすむセミの生態について、大阪市立大学教授と大阪市立自然史博物館学芸員の著者2人が、温暖化の影響も含め、科学的に考察する。大阪に非常に多く生息するクマゼミを中心に、セミの一生や発生状況について、調査結果をもとにわかりやすく解説している。セミはどこまで飛ぶのか、どのくらい生きるのか…。セミに関する素朴な疑問を、抜け殻探しやマーキング調査など、市民とともに様々な実験を行いながら明らかにしていく過程が楽しい。〔486.5〕

ビッグイシュー突破する人びと ―社会的企業としての挑戦―

稗田和弘 著

ジャンル：現代社会を見つめる

大月書店 1575 円 (0011446186)

自立支援を目指しホームレスが路上で販売する雑誌「ビッグイシュー日本版」は、2003 年に大阪で誕生した。ホームレス支援はNPOや社会福祉法人によって運営されることが多いが、代表である佐野氏は、常に売れる雑誌を目指すためにもビジネスという手段を選んだ。貧困、差別のような社会的問題を積極的に取り上げる編集方針など、若い世代を中心に支持されている理由がよくわかる。ビッグイシューの創刊にたずさわった人々のドキュメンタリー。 [368.2]

地図に訊け！

山岡光治 著

ジャンル：知識・教養を深める

筑摩書房 735 円 (0011436404)

どんなに技術が発達しても、町を歩き、山を登って現地調査をしなければ地図は作れない。また、余分な情報を削って必要なものをわかりやすく表示するなどの工夫も必要である。国土地理院で地図編集に携わっていた著者が、そうした地図作りの苦労話から、目的別の地図の上手な使い方、工夫を凝らした地図記号の秘密までを詳しく解説する。また、高さが変わる山や海に浮かぶ建物など、地図ならではの面白い発見もあり、地図を見るのが楽しくなる。 [448]

寄席の人たち ―現代寄席人物列伝―

秋山真志 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

創美社 集英社(発売) 1890 円 (0011413669)

寄席の花形といえば噺家(はなしか)。だが本書には、噺家だけでなく三味線漫談師、手品師、お囃子(はやし)、寄席文字書家など、東京を中心に活躍する多彩な人たちが登場する。それぞれのユニークな生い立ちや、芸への思いが語られると同時に、歴史的背景や、その職業に就くための一言案内も記載されている。ひとりひとりの真摯(しんし)な言葉から、みんなで作り上げる寄席の魅力が伝わってくる。寄席に行きたくなる一冊。 [779]

舞台ウラの選挙 ―“人の心”を最後に動かす決め手とは―

三浦博史 著

ジャンル：現代社会を見つめる

青春出版社 766 円 (0011435246)

まだ記憶に新しい東京都知事選での石原氏の圧勝、その影には様々な戦略と見えない攻防があった。三浦氏は、その勝利の立役者であり、勝率9割と言われる選挙プランナーだ。そんな選挙を知りつくした著者が、選挙費用、候補者のPR方法などの舞台ウラをわかりやすく解説し、人間社会の縮図とも言える選挙を語りつくす。いかに人を動かし、味方につけるのか？ 人の心をつかむための決め手が多く詰まっており、ビジネス書としても有用だ。 [314.8]

絵本でほどいてゆく不思議 ―暮らし・子ども・わたし―

松井るり子 著

ジャンル：子どもの成長のために

平凡社 1575 円 (0011454438)

本書でほどいていくのは、著者が家族との生活のなかで感じた「生きていくこと」の不思議である。お金や食事、家、子どもなどにテーマをわけ、自らの子育て体験と折々で出会った絵本とを重ね合わせながら語る。ファージョン作「年とったばあやのお話かご」の少女リーゼルにならない、子どものお弁当をハンカチで丁寧に包みながら、通学の無事を祈ったという著者。数多くの絵本の紹介とともにつづられるエピソードには、家族と暮らす幸せがあふれている。 [019.5]